

令和5年度 吉川市立東中学校 学校公開用

この学校評価は、学校の現状やこれまでの努力とその結果を公表し、家庭・地域にお知らせするとともに、今後の取り組みに向けて家庭・地域の理解や連携協力をお願いするものです。

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	評価に対する学校の説明・考察
1	学校は、学校教育目標の実現のため、様々な取り組みに努めている。	4	学校教育目標「自ら考え進んで実行」の達成に向けて、授業規律の徹底、学習姿勢の向上、わかる・伸ばす授業の展開、規範意識の向上、小中一貫の取り組みなど積極的に行った。	4	・学校教育目標達成のため、校長が示す学校経営の基本方針に従い、分掌ごとに課題解決に向けた年間計画を作成し、実行・努力していることを認めていただいている。
2	教職員は、PDCAサイクルのもと教科指導や学級経営・校務分掌にあたっている。	4	研究と修養による指導力の向上にむけて、授業改善にむけて各教科で教育計画の見直しを行った。また、ICTを活用した学習環境の充実、わかりやすい掲示物の工夫などを行った。	4	・オンライン授業や学校公開を通して、ICTを活用した学習環境や校内の掲示物などを見ていただき、より良い授業に向けた授業改善を行っていると感じていただいている。
3	学校は、事故やトラブルに対してのマニュアルを作成・掲示し、迅速に対応できる体制を整えている。	4	校長の指示のもと各分掌・学年で仕事分担し、全職員が協力し、取り組んでいる。また、報・連・相を徹底し、生徒の活動に反映される教育活動の実践に努めている。	3	・年度当初の会議で各マニュアルを提示し、ポイントを随時確認しながら共通行動で生徒の指導に当たっているが、今一度を確認を行い、生徒の健康や安全が一番の原理原則のもとに共通理解・共通行動をしていく。
4	学校は、清掃活動や掲示物等に力を入れるなど、組織的に環境美化に努めている。	4	清掃はしっかり行われており、子供たちが居心地のよい場所となっている。教師側も清掃指導を最後まで見届けていく。学年統一の掲示物など、ユニバーサルデザインを意識して行われている。	4	・オンライン授業や学校公開を通して、整理整頓された学習環境や校内の掲示物などを見ていただき、評価いただけたと感じていただいている。
5	学校は、小中の連携を図り、小中一貫教育を推進している。	4	研修主任を中心に東中学区小中一貫合同研修会（三輪野江小と旭小）や校内研修で、県学調の結果を実際に分析し、具体的な取り組みを発表し関係職員で共有した。また、6年生が中学校に来て体験授業や部活動見学を企画した。	3	・6年生が東中学校に来て行う活動として、学校公開や部活動体験会を行うことができた。12月に計画していた東中学校に来て行う体験授業が雨のため中止となった。再計画していきたい。
6	教職員はPTA活動や地域の活動に積極的に協力し、地域の人材を活用した学習活動を積極的に行っている。	4	総合学習では福祉体験授業で出前授業やオンライン授業で、学校外の人材を活用した。また、PTA活動では資源回収や除草作業、あじさい講習会などで、教職員と生徒、保護者が協力し美化活動などを行った。	4	・あじさい講習会や除草作業、資源回収などでPTA活動に積極的に協力した成果を評価いただいている。
7	学校は、学校の様子や成果を「学校だより」やホームページ等を活用し、積極的に情報提供している。	4	保護者への情報提供はホームページや保護者メールの発信が中心であった。学校便りは月に1回、学年、学級だよりは週1回以上と盛んに情報を発信した。	4	・学校だよりやホームページによる情報を積極的に発信を行っている。C4thやリーパーなどの保護者メールが、携帯の買い替えなどにより、全保護者に届かないという連絡をいただき対応した。
8	学校は地域の人材を活用するなど、保護者と地域が連携した教育活動を推進している。	3	授業での地域人材の活用、環境整備への保護者の協力など、学校と地域、学校と家庭は協力して教育活動を推進している。保護者と地域の連携に関しては、PTA本部役員がその大部分を担っており、学校職員からは見えにくい。	4	・各学年、総合的な学習の時間を通じて、外部の人材を活用して授業を数多く行っている。部活動や登下校など、地域の力を必要とする機会はたくさんあるので協力を仰ぎたい。
9	生徒は、落ち着いた学習に取り組む、学習内容を理解しようとしている。	4	学習規律の徹底、学習姿勢の向上など年間を通じて取り組み続け、授業を大切にしている意識の向上が見られた。引き続き落ち着いた環境を維持し、学力の定着・向上に向けた方策に力を注いでいく。	4	・落ち着いた学習環境の中で、目標を決めて努力するよう支援している。また、基礎基本の定着のため、教え合い学習を含め、アクティブラーニングに取り組んでいる姿を評価いただいた。
10	教職員は、学力向上を目指し、PDCAサイクルのもと、生徒の実態に基づいた授業改善に努めている。	4	学校研修課題である「自ら学び続ける児童生徒の育成」の達成を目指し、主体的で深い学びを実現できるよう指導方法の工夫改善に取り組んだ。次年度は子供達の興味・関心、課題等を明確にして個性に応じた学びを引き出せるよう取り組んでいく。	4	・主体的対話的で深い学びを実現できるように指導方法の工夫改善に取り組んでいる。生徒の実態という部分では、個別最適化された学びに向けて、家庭でもクロームブックを有効に活用できている。
11	教職員は一人一台端末を積極的に活用し、ICT活用を推進している。	4	ICT研修の講師をしていただいている大西先生から学んだことを、積極的に活用している。また、教職員同士で相互に活用例を周知してChromeBookを活用した授業を展開している。	4	・オンライン授業や学校公開を通して、ICTを活用した学習環境を見ていただき、評価いただいている。
12	学校は学習ルールを定めて授業を進めるなど、共通理解のもと指導にあたっている。	4	東中のstandardにとどまらず、「9年間の学びと育ちの連続性」に視点をあてた小中一貫教育ができるように、例：語先後礼など（言葉を先に、礼を後に）などの小中一貫の共通ルールを作成して取り組んだ。	4	・挨拶の仕方、「語先後礼」を小学校と連携して行っている。授業前には準備をして着席するなど時間を守るよう支援している。保護者には情報が伝わりにくい情報を発信していく。
13	生徒は、友達や教職員・来校者に進んであいさつをしたり、正しい言葉づかいをしたりすることができる。	4	マスクの着用が不要になり、以前より大きな声を出すことができるようになった。いまだ、声の小さい生徒がいるが、必要最低限のあいさつはできるように教師側から示していきたい。	4	・「先に挨拶をしてくれる。とてもよい習慣と感じました。声が小さい生徒もいた。」という内容の学校公開アンケートがあった。挨拶は自分から先にいつでもどこでも、あじさいを合言葉に指導している。
14	生徒は学習のルールや生活のきまり・時間を守ることができる。	4	ほぼ全員の生徒が8:10までに登校をしており、授業開始時間に対しても意識ができています。学習規律もしっかりしており落ち着いた学習ができています。自習でもGoogleクラスルームの課題を黙々と行うことができています。	3	・学校では決まりや時間を守るなどでできている。保護者から家庭での時間の使い方やスマホの使い方など相談されることがある。家庭と協力して規範意識を高めていきたい。
15	生徒はいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いのよさや努力を認め合って、学校生活を送っている。	4	学校は多様な価値観を持つ多数の生徒が集うところである。したがって、生徒同士のトラブルは少数であるが発生してしまう。教職員がアンテナを高く保ち、生徒の様子を細かに観察し、素早く対応することで、そのトラブルの悪影響を小さくし、かつ有効に利用してお互いの良さと価値観を認め合えるよう指導をしている。	3	互いのよさや努力を認め合うように、指導している。今一度、生徒の健康や安全が1番の原理原則のもと、よりよい学校生活を送れるよう共通理解のもと指導していく。
16	教職員は自ら手本となるなど、生徒に対して規範意識を高める指導を行っている。	4	生徒にとって最大の教育環境は教師自身である。時間を守ることに際しても、教師側が時間前に動くことを意識して行動している。引き続き、教師側が油断せずに取り組む続けることは忘れてはいけないことと考える。	4	生徒にとって最大の教育環境は教師自身である。教師自身が生徒の模範となるような言動を心掛けていく。どんなときでも見られているという意識を忘れず行動していく。
17	生徒は、体力向上に向け、体育の授業や部活動または外遊びに意欲的に取り組んでいる。	4	部活動の朝練習がなくなり、運動部の体を動かす機会が減少しているが、体育では授業規律がしっかりと確立されており、生徒はしっかりと取り組んでいる。昼休みの外遊びも活発に取り組んでいる。	4	・部活動の朝練習がなくなり、体力向上の項目は危惧していたが、思ったほど低い評価ではなかった。保護者の目に触れるものとして、体育祭や部活動の大会でそれなりの成果をあげたからであろう。
18	学校は、生徒の健康管理および食育に関する意識を高めようとしている。	4	今年度は食育の発表があり、食に対して全教職員が意識して取り組めた。栄養教諭による栄養指導を計画的に行うことができた。	4	・今年度は食育の発表を行った。掲示物や栄養教諭と授業を行い、生徒の意識を高めている。また、日々の健康観察を丁寧に行い、健康管理に役立っている。保護者に情報を発信していきたい。
19	学校は、生徒の立場に立ち、一人一人の思いや願いを大切に、生徒に寄り添った対応をしている。	4	教育相談部会において毎週、気になる生徒の報告を行っている。教職員は積極的に生徒と向き合っており、生徒理解に努め、言葉のキャッチボールによって心の内面に働きかけるようにしている。	4	・生活ノートから生徒の声をくみ取り、悩み等の早期解決に向けた支援を行っている。保護者が安心して送り出すことができるように、アンテナ高く見守っていく。
20	学校はいじめや不登校をなくすため、生徒の指導の充実を図っている。	4	毎月の「安全点検」や、さわやか相談室との連携により生徒一人一人への適切な個別指導に役立っている。チャンス指導も大切にして、生徒の変化に気が付けるように今後とも取り組んでいきたい。	4	・毎週教育相談部会を行い、気になる生徒の状況を報告を行っている。欠席が続いた生徒にも即座に働きかけ問題を見逃さず対応している。外部機関と連携し保護者の懸念を払しょくできるように対応する。